



おかげさまで70周年

第8回 赤い羽根全国ミーティング

# じぶんの町を 良くする会議



2017 7/13<sub>木</sub>-14<sub>金</sub>

会場 新霞が関ビル 全社協灘尾ホール及び5階会議室  
東京都千代田区霞が関 3-3-2

主催 | 社会福祉法人 中央共同募金会



# じぶんの町を 良くする会議



## 趣旨

共同募金運動に携わる関係者が集い、各地域での先行事例や地道な取組みについて共有しながら、共同募金の役割や可能性について語りあい学びあいます。さらに、志を同じくする者たちとつながり合うことで、明日へのモチベーションを高め、それぞれの地域に戻ってからの実践につなげることを目的として開催します。

平成29年度の全国ミーティングでは、地域共生社会の実現に向けて、共同募金70年答申及びその推進方策の全国的な推進を図るために、共同募金会と社会福祉協議会を中心とした関係機関との連携による取り組みを進めることをテーマとして開催します。

**主催** 社会福祉法人 中央共同募金会

**後援** 社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
(予定)

**期日** 平成29年7月13日(木)～14日(金)

**会場** 新霞が関ビル 全社協灘尾ホール及び5階会議室  
東京都千代田区霞が関 3-3-2 (地下鉄「虎ノ門駅」「霞ヶ関駅」「国会議事堂前駅」)

**参加対象**

- (1) 市区町村共同募金委員会役職員・委員等
- (2) 都道府県共同募金会関係者
- (3) 市区町村社会福祉協議会役職員
- (4) 都道府県社会福祉協議会関係者
- (5) 共同募金への募金等協力団体、共同募金の助成を受けた活動団体
- (6) その他関心のある方

**参加定員** 200名(予定)

**参加費** 6,000円  
(情報交換会は別途5,500円)





## プログラム (予定)

7/13<sub>木</sub>

13:00 ~ 15:30	150分	<b>全体会</b>
13:00 ~ 13:10	10分	●開会・あいさつ・オリエンテーション
13:10 ~ 13:50	40分	●講演1 「地域共生社会がめざすもの（仮）」 政府による「一億総活躍社会」づくりが推進される中で、福祉分野では、支え、支えられる地域コミュニティづくりを育成する「地域共生社会」の実現に向けた「寄付文化の醸成」が論点のひとつとなっています。 ここでは我が事・丸ごとの地域共生社会実現に向けた施策の動向、地域共生社会の実現に向けた共同募金への期待などについてお話しいたします。
13:50 ~ 14:30	40分	●講演2 「70年答申の推進と運動性の再生に向けて（仮）」 平成28年2月の中央共同募金会企画・推進委員会による70年答申のテーマである「共同募金における運動性の再生」で示された方向性とそれを具現化するために必要とされる今後の取り組みについて考えます。
14:30 ~ 15:30	60分	●パネルディスカッション 「地域共生社会の実現に向けた共同募金の可能性（仮）」 前半の講演における域福祉の再編に関する動向や、寄付や非営利活動を取り巻く状況を踏まえて、共同募金70年答申の意味と今後の推進方法について考えます。
15:30 ~ 15:45	15分	休憩
15:45 ~ 17:45	120分	<b>分科会</b> ① 地域を元気にする助成とは ～社会的インパクトと共同募金の運動性～ ② 楽しく活気ある共同募金委員会の作り方 ～新しい参加を広げよう～ ③ テーマ型募金とコミュニティワーク ～岸和田市の実践から学ぶ～
17:45 ~ 18:15	30分	休憩
18:15 ~ 20:15	120分	<b>情報交換会</b>

7/14<sub>金</sub>

9:30 ~ 11:20	110分	<b>分科会</b> ④ あなたも今日から共同募金マイスター ～新任向け共同募金のススメ～ ⑤ 広報からコミュニケーションへ ～町内会との関係がオイシくなるミルフィーユ・メソッド～ ⑥ 共同募金運動と災害支援 ～平時の防災から緊急支援、復興支援の過程と運動性～
11:20 ~ 11:40	20分	休憩
11:40 ~ 12:30	50分	<b>全体会</b> 「今年度の共同募金運動に向けて ～各分科会のキーワードから～」 1日目のセミナー、2日目の分科会で出されたキーワードをもとに、共同募金における運動性の再生への道すじと、今年度の共同募金運動に向けた新しい取り組みのヒントを持ち帰ります。
12:30		閉会



7/13(木)

13:00 ~ 15:30 (150分)

## 全体会

### ●開会・あいさつ・オリエンテーション (10分)

### ●講演1 (40分)

#### 「地域共生社会がめざすもの (仮)」

政府による「一億総活躍社会」づくりが推進される中で、福祉分野では、支え、支えられる地域コミュニティづくりを育成する「地域共生社会」の実現に向けた「寄付文化の醸成」が論点のひとつとなっています。

ここでは我が事・丸ごとの地域共生社会実現に向けた施策の動向、地域共生社会の実現に向けた共同募金への期待などについてお話しいたします。

[講師]

本後 健さん (厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室長)

### ●講演2 (40分)

#### 「70年答申の推進と運動性の再生に向けて (仮)」

平成28年2月の中央共同募金会企画・推進委員会による70年答申のテーマである「共同募金における運動性の再生」で示された方向性とそれを具現化するために必要とされる今後の取り組みについて考えます。

[講師]

上野谷 加代子さん (同志社大学教授)

### ●パネルディスカッション (60分)

#### 「地域共生社会の実現に向けた共同募金の可能性 (仮)」

前半の講演における域福祉の再編に関する動向や、寄付や非営利活動を取り巻く状況を踏まえて、共同募金70年答申の意味と今後の推進方法について考えます。

[登壇者]

上野谷 加代子さん (同志社大学教授)

長沢 恵美子さん (1% (ワンパーセント) クラブ事務局次長)

阿部 陽一郎 (中央共同募金会事務局長)

他登壇者調整中



7/13(木)

15:45 ~ 17:45 (120分)

分科会  
1

## 地域を元気にする助成とは ～社会的インパクトと共同募金の運動性～

共同募金70年答申では、今後の共同募金の助成について、「地域により良い具体的な変化が起きるものにする必要がある」としています。共同募金の助成を地域により良い変化を起こすためのしくみとするためには、どのような視点や手法が必要とされるのでしょうか。

助成を通じたボランティア・NPO活動支援の事例を通じて、共同募金だからできる地域を巻き込んだ助成のあり方について考えます。

[主な講師]

茶野 順子さん (笹川平和財団常務理事)

永井 美佳さん (大阪ボランティア協会事務局長)

他登壇者調整中

ねらい  
ゴール

- 地域に良い変化を与える助成とそこから生み出される共同募金の運動性について学ぶ

主な  
対象者

- 共同募金による助成を見直そうとしている担当者

分科会  
2

## 楽しく活気ある共同募金委員会の作り方 ～新しい参加を広げよう～

共同募金70年答申では、共同募金の運動性の再生に向けた取り組みとして、市区町村共同募金委員会の機能を充実させることが急務とされています。

共同募金が地域福祉の推進に向けたしくみとして、今よりもっと活用されるために、新しい人材の発掘や、新たな助成先の開拓など、楽しく活気ある共同募金委員会の作り方、進め方について考えます。

[主な講師]

和田 仁さん (島根県・雲南市共同募金委員会プロジェクトマネージャー)

小柴 徳明さん (富山県・黒部市社会福祉協議会総務課経営戦略係長)

松下 みどりさん (兵庫県共同募金会主事)

他登壇者調整中

ねらい  
ゴール

- 共同募金委員会とは何か、共同募金委員会を充実させることが地域福祉にどのようにつながるのか、その必要性と手法について学ぶ

主な  
対象者

- 共同募金委員会に組織変更して間もない地域の担当者
- これから共同募金委員会づくりを進めようとしている担当者



7/13(木)

分科会  
3

## テーマ型募金とコミュニティワーク

～岸和田市の実践から学ぶ～

いま地域で課題となっていることや、それを解決する活動をテーマとして募金を呼びかけるテーマ型募金の手法が全国各地で広がっています。また、こうしたテーマ型募金の手法は、地域住民と地域の課題を共有し、解決への参加を促す福祉教育の取り組みと共通するものです。

この分科会では、岸和田市社会福祉協議会と岸和田地区募金会による「あったか大家族募金」の事例を紐解きながら、テーマ型募金とコミュニティワークの関係について考えます。

[主な講師]

平井 庸元さん (全国社会福祉協議会地域福祉部副部長)

青山 織衣さん (大阪府・岸和田市社会福祉協議会地域福祉課地域福祉係長)

ねらい・  
ゴール

- 地域課題の解決に共同募金を活用する手法としてのテーマ型募金について学ぶ

主な  
対象者

- これから新たにテーマ型募金に取り組もうとしている担当者
- テーマ型募金とコミュニティワークの関係性について学びたい人



7/14金

9:30 ~ 11:20 (110分)

分科会  
4

## あなたも今日から共同募金マイスター

～新任向け共同募金のススメ～

今年から共同募金の担当になった皆さん。まだ意味もよく分からないまま、とりあえず前任者の進め方を真似しながら、試行錯誤する日々を送っておられるのではないのでしょうか。

ここでは、そもそも共同募金とはどんなしくみなのか、共同募金の基礎について理解を深めるとともに、全国で同じ悩みを持つ仲間とつながりをつくります。

[主な講師]

田尻 佳史さん (日本NPOセンター特任理事)

鷹尾 大英さん (福井県共同募金会主任)

ねらい・  
ゴール

- 共同募金の理念や基礎的な知識、業務の進め方について学ぶ

主な  
対象者

- 今年から新たに共同募金担当となった人

分科会  
5

## 広報からコミュニケーションへ

～町内会との関係がオイシくなるミルフィーユ・メソッド～

みんなのためにみんなで集めてみんなで活かす—こんなすてきな募金のしくみ、国内でも希少だと思うのですが、さまざまな背景から「みんなで集めて」のパワーが弱まってきていますよね。

この分科会では、とりわけ最たる実働部隊である町内会にフォーカスして、みんながその気になるための基本姿勢のあり方やコツを考えてみましょう。

[主な講師]

古賀 桃子さん (ふくおかNPOセンター代表)

星野 久子さん (群馬県共同募金会係長)

高山 弘毅さん (Nukiito代表)

ねらい・  
ゴール

- 共同募金運動における協力者・寄付者との関係の多様さについて理解したうえで、特に戸別募金におけるコミュニケーションを一方向的なものではなく双方向のものにしていくこと

主な  
対象者

- 町内会とのコミュニケーションを一步前に進めたい担当者
- 町内会への説明を今より充実させたい担当者



7/14金

分科会  
6

## 共同募金運動と災害支援

～平時の防災から緊急支援、復興支援の過程と運動性～

共同募金会は、災害等準備金による災害ボランティアセンター支援や「ボラサポ・九州」によるボランティア・NPO活動支援、災害義援金による被災者支援など、多様な災害支援を行っています。また、共同募金は平常時の地域防災から、災害発生時の緊急支援、復興期の活動支援までを継ぎ目なく行えるしくみであり、それを実現するための地域との強い関係性を持っています。

ここでは、共同募金会による災害支援への理解と、共同募金だからこそできる災害に強い地域づくりについて学びます。

[主な講師]

菊池 亮さん（岩手県・釜石市社会福祉協議会地域福祉課長）

他登壇者調整中

ねらい・  
ゴール

- 災害時・平常時における共同募金の役割について学ぶ

主な  
対象者

- 災害支援に関わる社会福祉協議会やNPO担当者

7/14金

11:40～12:30 (50分)

全体会

## 「今年度の共同募金運動に向けて ～各分科会のキーワードから～」

1日目のセミナー、2日目の分科会で出されたキーワードをもとに、共同募金における運動性の再生への道すじと、今年度の共同募金運動に向けた新しい取り組みのヒントを持ち帰ります。



## お問合せ先

---

- 「参加・交流会・宿泊申込書」の送付、宿泊等の手配について  
名鉄観光サービス株式会社新霞が関支店（担当：波多野、山辺）  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビルLB階  
TEL：03-3595-1121 FAX：03-3595-1119  
（受付時間 平日9:30～17:30 土日祝日休業）
- ミーティングの企画内容について  
社会福祉法人 中央共同募金会運動推進部（担当：筈川、青柳、田中）  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル5階  
TEL：03-3581-3846 FAX：03-3581-5755  
Eメール kikaku@c.akaihane.or.jp

# 第 8 回 赤い羽根全国ミーティング

## 参加・交流会・宿泊のご案内

### 【申込方法】

- ・申込書に必要事項をご記入のうえ、名鉄観光サービス(株)新霞が関支店までFAXにてお申込みください(交流会や宿泊を必要とせず、ミーティングにのみ参加申込をされる場合でも、申込書に必要事項をご記入の上お申込みをお願いします)。
- ・申込締切日以降に参加券類及び振込依頼書をご郵送させていただきます(7/6 頃を予定)。到着後ご送金の手続をお願いします。

### 【申込締切日】 平成 29 年 6 月 26 日(月)必着

※但し定員(200名)に達した場合、早期に受付を終了することがあります。

### 【参加費(資料代込)】 6,000 円 (宿泊費・交流会費は含みません)

### 【宿泊のご案内】

- ・会場近隣の下記の宿泊施設をご手配させていただきます。ご希望の方は申込書にてお申込ください。

表示の料金は朝食付、税金・サービス料を含むお一人様 1 泊あたりの金額です。

申込記号	宿泊施設名	部屋タイプ	宿泊料金	会場より
A	新橋愛宕山 東急REIホテル	シングル (朝食付)	13,900 円	・会場から徒歩 13 分 ・地下鉄銀座線「虎ノ門駅」 徒歩 7 分
B	マロウドイン赤坂	シングル (朝食付)	9,500 円	・会場から 20 分(地下鉄利用) ・地下鉄千代田線「赤坂駅」 徒歩 5 分

※各施設部屋数に限りがございますので先着順での受付とさせていただきます。満室となりました場合は他の宿泊施設をご案内させていただきます。予めご了承ください。

### 【交流会のご案内】 日 時：7 月 13 日(木) [1 日目] 18:00～20:00

会 場：霞が関ビル 35 階 東海大学校友会館

会 費：5,500 円(税込)

### 【申込後の変更・取消について】

- ・申込後に変更・取消が生じた場合は、申込時の「申込書」を変更箇所がわかるように訂正の上、再度FAXにて名鉄観光サービス(株)新霞が関支店までご連絡ください。
- ・参加取消の場合 7/3(月)までにご連絡をいただいた場合は参加費不要ですが、7/4(火)以降の参加取消は参加費が必要となります(資料の送付をもって参加に代えさせていただきます)。参加取消の時点でご送金がお済みでない場合でも参加費をご送金いただくこととなります。また、参加費用入金後のキャンセルについても参加費の返金はいたしません。資料の送付に代えさせていただきます。予めご了承ください。
- ・宿泊・交流会の取消については取消日より下記の取消料が発生します。予めご了承ください。

取消日	14-8 日前	7-2 日前	前 日	当日 12:00 まで	当日 12:00 以降・無連絡
宿 泊	20%	30%	40%	50%	100%
交流会	7/10 までは無料。7/11 以降 100%				

※受付時間外の変更・取消のご連絡は、翌営業日の受付扱いとなります。ご了承ください。

### 【申込・お問合せ先】 名鉄観光サービス株式会社 新霞が関支店 担当 波多野、山辺

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビルLB階  
電話 03-3595-1121 FAX 03-3595-1119  
受付時間 平日 9:30～17:30 土日祝日休業

# 第8回 赤い羽根全国ミーティング

## 参加・交流会・宿泊申込書

<H29. 7. 13-14 開催>

申込締切日: 6月26日(月)

定員(200名)に達した時点で早期に募集を終了する場合があります。

※複数名でお申込みの場合は、本申込書を人数分コピーのうえお一人様ずつお申込みください。

参加申込	新規申込	内容変更	参加取消	申込日	月	日
都道府県	所属先名称		部署名			
フリガナ	男性	役職名(または職名)		共同募金担当年数 [ ]年		
参加者氏名	女性			(募金担当 [ ]年・助成担当[ ]年)		
郵便番号	※参加券・振込依頼書の送付先となりますので正確にご記入をお願いします。 ※所属先以外の住所に送付をご希望の場合は宛先までご記入のうえ、通信欄にその旨をご記入ください。					
所属先住所						
電話	FAX	申込担当者		様		
Eメール						
通信欄						

1日目(7/13) 分科会希望	参加希望の分科会に○をおつけください。第二希望までお願いします。							
	第一希望	分科会①	分科会②	分科会③	第二希望	分科会①	分科会②	分科会③

2日目(7/14) 分科会希望	参加希望の分科会に○をおつけください。第二希望までお願いします。							
	第一希望	分科会④	分科会⑤	分科会⑥	第二希望	分科会④	分科会⑤	分科会⑥

1日目(7/13) 交流会申込	交流会参加費 5,500円	参加します	参加しません
--------------------	---------------	-------	--------

宿泊申込	部屋数に限りがございますので先着順にて受付をさせていただきます。 宿泊申込記号は別紙「参加・交流会・宿泊のご案内」をご参照ください。			
	宿泊申込記号		宿泊日(泊数)	備考
	第一希望	第二希望	7月 日から( 泊)	※喫煙・禁煙のご希望がございましたらご記入ください。

費用計算欄	※申込内容に基づく費用計算をお願いします。			
	①参加費(資料代込) 6,000円	②交流会参加費 円	③宿泊代 円× 泊分	費用合計額(左記の合計額) 円

◎参加券送付の際に振込依頼書を同封いたします(7月6日頃)。到着後送金手続をお願いします。

●参加取消の場合 7/3(月)までにご連絡をいただいた場合は参加費不要ですが、7/4(火)以降の参加取消は参加費が必要となります(資料の送付をもって参加に代えさせていただきます)。参加取消の時点でご送金がお済みでない場合でも参加費をご送金いただくこととなります。また、参加費用入金後のキャンセルについても参加費の返金はいたしません。資料の送付に代えさせていただきます。予めご了承ください。

申込書送付先<送信状は不要です> FAX 03-3595-1119	名鉄観光サービス(株)新霞が関支店 担当 波多野、山辺 電話 03-3595-1121 受付時間・平日 9:30-17:30 土日祝日休業)
--------------------------------------	---

変更・取消が生じた場合は、本申込書を変更箇所がわかるよう訂正の上再度 FAX をお願いします